

今週のメニュー

■トピックス

◇PVC next 関西 e-mon (ええもん) 展 に出展

■随想

◇マラウイ共和国旅行記 (11) (終) -マラウイ共和国あれこれ(その2) -

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■編集後記

■トピックス

◇PVC next 関西 e-mon (ええもん) 展 に出展

PVC next は9月15日(火)~16日(水)に大阪マーチャндаイズ・マート (OMM) で開催された関西 e-mon (ええもん) 展に出展しました。

関西 e-mon (ええもん) 展は、「大阪ギフト・ショー」の会場内に設けられた特別企画コーナーで、地元、関西で作られたデザイン性の高いインテリア雑貨や服飾雑貨、および新しい発想や技術を生かした商品などを展示・販売する商談会で、今回は15社が出展しました。このコーナーに出展出来るのは地元で生産・販売されているか主催者の審査を受けたものということで、PVC next も主催者の(株)ビジネスガイド社へ展示物などの申請を行ない許可が出て実現したものです。

PVC next は、展示ブースと販売コーナー2つに出展し、展示ブースでは、過去に「PVC Design Award」で受賞した作品(TETRA、水槽バッグなど)や上田安子服飾専門学校とコラボした作品などを出展しました。いずれも柔らかくしなやかなで、透明性、印刷性の良さなどソフト PVC 素材の特徴をいかした作品です。

販売コーナーではPC CELL (パソコンケース) や今回のために製作したコミックイラストを印刷した「ぴたっとハンガー」と「ポーチ」を販売しました。



PVC-nextとは
関西のプラスチック加工組合のもとに、産学協同や様々なクリエイターとのコラボ製品を、PVC-nextブランドとして、企画販売しております。
上記は業界内のコンテスト等での受賞作品を一部ご紹介させて頂きました。
OEM、別注等のご要望等ございましたら、お問い合わせ願います。

お問い合わせ窓口
株式会社 河野プラテック
〒555-0024 大阪府西淀川区野里3丁目6番12号
TEL(06)6472-0461 FAX(06)6472-0804
担当:代表取締役 河野 まで
又は PVC-next.comのホームページでもご利用頂けます。



展示ブース



販売コーナー

流通関係、広告代理店、通販会社など様々な業種の方が来場され、商品についての問い合わせがあり、販促用にとびたっとハンガーやポーチの見積もり依頼がありました。

会場には天然石やインテリア雑貨のフェアなどがありました。プラスチックに関わる商品が少なかったこともあり、来場者された多くの方に、デザイン性の良い軟質塩ビ作品を紹介できたものと思います。

■ 随想

◇マラウイ共和国旅行記（11）（終）－マラウイ共和国あれこれ（その2）－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

ケンタッキー・フライド・チキン

－昨年訪問したモザンビーク共和国にもあったのですが、マラウイ共和国にもケンタッキー・フライド・チキンのお店がありました。アフリカの人はチキンが大好きということもあり、最近積極的にアフリカに進出しているようです。

残念ながら、味は食べていないので分かりません (^_^)

お店

マラウイ共和国にあるお店、ある程度以上の規模のお店のオーナーのほとんどがインド人かユダヤ人か中国人。どうして自分たちで経営をしようとならないのか尋ねると、商売を始める人がいないわけではないが、なぜかどの店も経営がうまく行かず、潰れてしまう。もともと計算能力が弱いこともあるかもしれないとのことでした。

マラウイ大学を卒業した人に、「9時30分の2時間前に来て」と話したら、うんうんと唸りながら計算し、「分かった、じゃあ8時に行くね」(-_-;

カラス

これまで何回もアフリカに来ていますが、今回初めて気が付いたことがあります。

マラウイ共和国独特の種類なのかもしれませんが、カラスの色が白黒。イメージとしてはペンギンです。頭や背中、羽は黒いのに、クビとお腹は白。普通にそこら中にいたので、突然変異ではないようです。あんなカラス、今までに見た記憶がないのですが。。

トカゲ

マラウイ共和国、比較的水にも恵まれたアフリカの国です。アフリカで水があるということは、ボウフラが住んでいる。ということは、蚊が多いということでもあります。私も日本から殺虫剤、電気蚊取り、医薬品の強力虫除けスプレーなどを持参していますし、ホテルの部屋にも殺虫剤が置いてあります。寝るときはもちろん蚊帳の中です。

ここまで準備をして行き、屋外ではそれなりに蚊が多いのですが、なぜかホテルの室内に蚊がほとんどいない。日中はハウスキーパーさんが空気の入れ替えのため、窓やドアを全開にしているので蚊が入ってこないわけがない。そう言えば屋外であれだけ飛び交っているハエもいない。

不思議に思っていました、滞在3日目の夜、気が付きました。部屋の中にトカゲが住んでいる。ふとした拍子に、視線が合い、睨み合いになっちゃいました (^_^; 透き通るような胴体をした、とてもきれいなトカゲでした。そう言えば、夜、何かが壁を横切るような気がしていたのです。

このトカゲのおかげで、部屋の中に入ってきた虫は食べられてしまうため、室内にほとんど虫はいなかったようです。トカゲに感謝 <m(__)m>

銀行

なぜだかよく分かりませんが、マラウイ共和国は銀行だらけの国です。都市であろうが田舎であろうが、どこにでも銀行があります。ショッピングモールだと思って入ったところが、全部銀行の支店だったことも。ATMも日本並にどこにでもあります。

治安があまりよくないので、本当に必要なお金しか手元に持っていないということなのでしょうが？

ヤギ売り

都市部では午前11時頃になるとお昼ご飯で食べる“ヤギ売り”がやって来ます。お肉屋さんではなく、生きた山羊を自転車の荷台につけた箱の中に2~3頭、ぎゅうぎゅうに詰め込んでやって来ます。特に売り声を出さなくても、箱に詰められたヤギが苦しいのか「グエー、グエー」と悲鳴を上げるので、“ヤギ売り”が来たことがすぐにわかります。

日本だと動物虐待？

ご安全に

マラウイ共和国内に浸透しているかどうかは分かりませんが、少なくとも私が訪問した作業現場では、作業開始時、みんなで「Go Safe」と言ってから作業に取り掛かっていました。別に日系企業やJICAと関係があるところではなかったのですが、ちょっと驚きました。もしかすると、JICAの専門家がマラウイ共和国で「Go Safe」を広めているのかもしれないですね。

今回は一昨年訪問したモザンビーク共和国のお隣、マラウイ共和国を訪問しました。陸続き、隣同士ということで、あまり変わらないかなと思いましたが、国の雰囲気はかなり違いました。民族が違う、旧宗主国が違うというのが大きな理由かもしれません。

訪問した9月頃、アフリカでは、アフリカの桜ともいえるジャカランダの花が満開でした。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。



(終)

次回は、(番外編) -ヨハネスブルグお土産情報-です。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

私が今住んでいる近所で、東横線の祐天寺駅の近くに「五本木」という地名がある。「六本木」は有名だが、もしかしたら近くに「一本木」、「二本木」、・・・という地名もあるのでは？と調べたが、残念ながらそのような地名はありませんでした。どうも名前の由来は、たまたま五本、六本の木があったから程度のようなようです。

ちなみに、全国的に見ると「千本木」という地名も多いようで、木がたくさんあるからということで地名がついたケースが多いようです。地名の由来を調べて見ると意外と簡単につけられているケースが多く驚きました。(鷹山)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp